

第71回都民体育大会（区市町村対抗）春季大会

「自転車」要項

（公開競技）

- 1 主催 (公財) 東京都体育協会・東京都
 2 主管 東京都自転車競技連盟
 3 日時 平成30年6月3日(日) 7:30~16:00
 4 会場 立川競輪場
 5 種別 男子・女子
 6 競技上の規定及び方法

- (1) (公財) 日本自転車競技連盟競技規則に準ずる。ただし、ロードレーサーの規格については次のとおりとする。
 (ア) ハンドルバーに付属させる、アタッチメント式のバーは認めない。
 (イ) スペアタイヤ、ポンプ、ボトル等、競走に直接必要でない付属品は取り外すこと。
 (ウ) 各種目予選、決勝を行う。
- (2) ロードレーサー（3種目の中から2種目を選択する）

ア	30歳以下の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
イ	31~40歳の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
ウ	41~50歳の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
エ	51~60歳の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
オ	61~65歳の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
カ	66歳以上の部	①400m 速度競走	②1km タイムトライアル	③2000m 速度競走
キ	女子の部	①800m 速度競走	②500m タイムトライアル	

7 参加資格

- (1) 東京都民（東京都内在住(=住民票を有する)者）であり、当該区市町村を代表する者で、次のア、イのいずれかの資格を有する者とする。
 (ア) 当該区市町村に平成30年4月1日以前より在住している(=住民票を有する)者
 (イ) 当該区市町村に所在する職場に勤務している者で、平成30年5月1日までに、当該区市町村の体育協会に加盟する競技団体の登録者
- (2) 次の項目に該当する者は参加を制限する。
 (ア) 小学生、中学生、高校生、高等専門学校生及び、体育・スポーツの学生連盟に登録している学生（大学生）は参加できない。
 (イ) 同季大会の他の競技に参加した者は、当該競技に参加できない。ただし、陸上競技にあってはこの限りではない。
- (3) 健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。

8 参加人員

1区市町村男女合計で21名以内（監督1名、選手18名、補欠2名）

※ただし、選手は監督と兼任できる。

9 順位決定方法

各種目共決勝の1位~6位までを入賞とし、1位12点、2位9点、3位8点、4位7点、5位6点、6位5点の得点を与え、各種目の合計点より、各区市町村の順位を1位から8位まで決定する。

10 表彰

- (1) 成績第1位の区市町村に、優勝旗を授与する。
- (2) 成績第1位から第8位までの区市町村に、賞状を授与する。
- (3) 各種目第1位から第3位までの選手に、賞状及びメダルを授与する。

11 申込期限及び方法

- (1) 申込期限
平成30年4月4日(水)・5日(木) (※持参受付) / 4月4日(水) 必着 (※鳥しよのみ)
- (2) 方法
各区市町村は所定の用紙により、区市町村長または区市町村教育委員会教育長、地区体育協会長の連署をもって2通作成し、大会会長(大会本部)あてに申込む。

【参加申込書申込み先】〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館3F

(公財) 東京都体育協会 「都民体育大会」大会本部

TEL03-6804-8122 FAX03-3465-4311

(3) 申込書の記入方法

- (3) 自宅住所の欄は、すべてのメンバーの住所を記入すること。なお、当該区市町村在住者は勤務先住所の記入は不要とする。当該区市町村在住者は自宅住所のほか、勤務先名と勤務先住所を記入すること。
- (4) 申込み後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、大会3日前までに、所定の変更届を大会本部及び東京都自転車競技連盟の担当者まで提出すること。

※なお、ご提供いただきました住所・氏名等の個人情報、本件の目的以外には一切使用致しません。

12 参加費

参加費は、監督・選手一人に対し、500円とする。

※入金後の返金は原則として対応できませんので予めご了承ください。
各区市町村は、全競技一括して、大会本部へ納金(銀行振込)すること。

13 監督会議

日時：大会当日朝 7:30~8:00

会場：立川競輪場内 会議室

立川市曙町3-32-5

JR立川駅、多摩都市モノリール立川北駅から徒歩15分

※ 監督会議に欠席した区市町村(鳥しよを除く)は大会に参加できない。(代理可)

14 その他

- (1) 競技中の事故については、心処置を本部及び主管団体において行うが、以後の責任は負いかねるので、スポーツ安全協会等の傷害保険へ加入すること。
- (2) 本大会に参加する監督・選手は必ず所属地区名をユニフォームにつけること。
- (3) 特に、投薬治療中及び既往症がある方は、前もって大会本部に医師の診断書を提出し、主催者及び主管団体の協議のうえ参加の可否を判断する。